

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	0405	商店街利便性向上事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の利便性向上を図り賑わいづくりを促進する					
対象	事業者、商店街団体					
意図	商店街の便益施設を運営または運営補助し、利便性を向上させる					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<input type="checkbox"/> 商店街便益施設管理事業補助金 上町駐車場の公衆用トイレの維持管理事業補助 <input type="checkbox"/> 公共駐車場確保対策事業 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保 <input type="checkbox"/> 商店街共同施設補修事業補助金 商店街が設置した共同施設の補修経費の補助 <input type="checkbox"/> 商工業近代化事業補助金 商店街が共同施設の新設を行う場合の補助						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	上町駐車場利用台数	台	計画	46,000	46,000	
			実績	49,333	54,852	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	市街地における一日当たりの歩行者数【商工会議所】	人	目標	9,000	9,000	
			実績	6,952	5,286	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
調査日は「曇りのち雨」という天候であったものの、商店街における店舗の減少などにより、市街地における歩行者数は減少傾向にある。		
<平成27年度調査日> 調査は、花巻商工会議所により実施。 平成27年6月28日(日)、29日(月)の2日間 花巻市内14地点、大迫町1地点、石鳥谷町1地点、東和町2地点で実施。 調査時間は午前7時30分から午後7時30分までの12時間		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公共駐車場確保対策は未利用市有地の活用などを検討しなければならない。
	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="radio"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	多くの商店街で施設の老朽化が進んでおり、来街者の安全・安心確保の観点からも公共関与は必要と考える。
有効性	成果の向上余地	商店街の利便性や安全・安心なまちづくりなど、商店街の取り組み次第で向上余地はあると思われるが、商店街そのものの資金や人的な面で余力に乏しい懸念がある。
	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	公共駐車場確保対策において引き続き検討する必要がある、事業費の削減余地はある。
	<input checked="" type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益機会は公平であり、商店街共同施設改修事業には自己負担を要することから、適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input checked="" type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
商店街の利便性、来街者の安全・安心面への配慮を考えると、公共施設はもとより、商店街が設置した共同施設等の適正配置や、安全性確保は必要不可欠であり、昨年度においては、一日市商店街におけるアーケード撤去や街路灯の新設を行い、商店街の利便性、来街者の安全・安心の確保に成果があった。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0405	商店街利便性向上事業

単位：千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	6,639	5,755		△ 884
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	6,639	5,755	

事業期間	単年度繰返	○ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	--------	-----------------

部重点施策における目標
中心商店街の再活性化

事業開始の背景・経緯
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場等の利便施設の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。

事業概要

- 商店街便益施設管理事業補助金
上町駐車場の公衆用トイレの維持管理事業補助
- 公共駐車場確保対策事業
大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保
- 商店街共同施設補修事業補助金
商店街が設置した共同施設の補修経費の補助
- 商工業近代化事業補助金
商店街が共同施設の新設を行う場合の補助

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
商店街における高齢化・担い手不足は深刻な状況にあり、商店街団体の会員の減もあり、事業実施における事業費（商店街の自己負担分）の確保が難しくなっている。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 藤原啓昭 内線 389

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

□商店街便益施設管理事業補助金 550千円
中心市街地の利便性向上のため、上町駐車場に設置しているトイレを公衆用トイレとして維持管理するための補助金。
補助事業者：協同組合パークアベニュー花巻
補助対象経費：水道料金、清掃、全体管理、夜間警備料

□公共駐車場確保対策事業 1,737千円
大迫地区内の中心商店街来街者用の駐車場を確保する。
・需用費 200千円（融雪剤、修繕料）
・委託料 25千円（除雪・草刈）
・土地借上料 1,512千円

	箇所名	契約者氏名	区画数 a	1区画の 月額単価b	賃借料 a*b*12月
1	仲町	小川 富士	20	3,000	720,000
2	上町	黒沼 啓三	20	2,000	480,000
3	川原町	宗教法人到岸寺	13	2,000	312,000
			53		1,512,000

□商店街共同施設補修事業補助金 1,710千円
【通常分】
商店街の共同施設の補修経費に対して補助する。
補助率等：補修経費の1/2（上限なし）
対象施設：駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード
○一日市商店街アーケード解体撤去事業（国のまちづくり補助金採択事業）
（全体事業費 9,850千円－まちづくり補助金6,566,666円）÷2=1,641,667円
○大町商店街街路灯補修（バナー更新）事業
事業費 136,080円÷2=68,040円

□商工業近代化事業補助金 1,758千円 [H27新規]
商店街が近代化事業（共同施設等の新設）を行う経費に対して補助する。
補助率等：補修経費の1/2（上限なし）
（他の補助金の交付があった場合、その補助金を控除後の補助対象経費の1/2）
対象施設：駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード
○一日市商店街アーケード解体撤去事業（国のまちづくり補助金採択事業）
（全体事業費 11,394千円－まちづくり補助金 7,033,333円）÷2=1,758,333円